

臨床栄養学実習

1 単位 (必修)

Practice of Clinical Nutrition

武田 英二・教授 / 栄養学科 臨床実践栄養学講座, 竹谷 豊・准教授 / 栄養学科 臨床実践栄養学講座, 山本 浩範・助教 / 栄養学科 臨床実践栄養学講座
奥村 仙示・助教 / 栄養学科 基礎予防栄養学講座

【授業目的】 患者の栄養管理を実施するために必要な, 患者の病態理解, 栄養アセスメントおよび栄養補給法の把握だけでなく, 臨床現場で活動する医師, 看護師, 事務系職員, その他と相互理解を学習する.

1. 病院との連携, 協力関係
2. 病棟における栄養管理も担える管理栄養士の養成
3. 臨床現場(臨場感, 生命に関わることを体験する)
4. コミュニケーションの構築(患者, 医師, 看護師, 事務職員), 信頼関係, チーム医療, インフォームド・コンセント

【授業方法】 [授業方法]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 実習態度について L1. 臨床実習中は, 指導医師の指示を守り, 白衣を着用する. また, 身だしなみ, 態度, 言葉づかいなどに注意する. L2. 患者の診断, 病状, 治療内容などの秘密は, 口外してはならない. L3. 廊下歩行時, エレベーター使用時などには患者を優先する. L4. 実習開始時間は厳重に守る. やむを得ず欠席あるいは遅刻する場合には, あらかじめ担当医師に必ず連絡すること. L5. 清潔, 滅菌, 消毒, 感染源などに注意し, 患者ならびに自己の感染予防を心がける. L6. 各病院の諸規定や規則を厳守する.

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. 3~5 人のグループが病棟で, 医師の指導のもとで実習を行う. 実習内容をまとめて報告会で発表する.
2. 患者の診断, 病態, 治療法を理解する. / カルテ, 問診, 症状(自覚症状, 他覚症状), 臨床検査(正常値), 治療法(手術, 放射線療法, 薬物療法, 等)
3. 栄養アセスメントを行う. / 食生活, 身体計測(正常値), 必要摂取エネルギー量把握, 間接カロリーメトリーを用いたエネルギー測定
4. 栄養摂取量と補給法を知る. / 選択法, 食事(約束食事せん, 栄養計算), 経腸栄養(適応, 禁忌, 種類, 処方), 経静脈栄養(適応, 禁忌, 種類, 処方)
5. 栄養教育, 栄養指導法を理解する.
6. 在宅医療(特別食, 献立, 実技)の方法を理解する.

【教科書】

- ◇ 「栄養管理のチーム医療」(武田英二, 他, 編集) 文光堂, 2006 年
- ◇ 「実践臨床栄養学メモ」(武田英二, 中屋 豊, 高橋保子, 共著) 文光堂, 2003 年

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217977>

【連絡先】

- ⇒ 武田 (088-633-7093, takeda@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日16時~17時)
- ⇒ 竹谷 (088-633-9597, taketani@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 山本 (088-633-7235, yamamoto@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 奥村 (088-633-9595, yamanaka@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 臨床実習に必要な知識 L1. カルテを理解する: 疾患の知識, 医学用語, 守秘義務 L2. 栄養素代謝と作用(栄養代謝テキスト, 文光堂, 1997)

Practice of Clinical Nutrition

1 unit (compulsory)

Eiji Takeda · PROFESSOR / COURSE OF CLINICAL AND APPLIED NUTRITION, SCHOOL OF NUTRITION, Yutaka Taketani · ASSOCIATE PROFESSOR / COURSE OF CLINICAL AND APPLIED NUTRITION, SCHOOL OF NUTRITION

Hironori Yamamoto · ASSISTANT PROFESSOR / COURSE OF CLINICAL AND APPLIED NUTRITION, SCHOOL OF NUTRITION, Hisami Okumura · ASSISTANT PROFESSOR / COURSE OF BASIC HUMAN NUTRITION, SCHOOL OF NUTRITION

Target) 患者の栄養管理を実施するために必要な、患者の病態理解、栄養アセスメントおよび栄養補給法の把握だけでなく、臨床現場で活動する医師、看護師、事務系職員、その他と相互理解を学習する。

1. 病院との連携、協力関係
2. 病棟における栄養管理も担える管理栄養士の養成
3. 臨床現場(臨場感、生命に関わることを体験する)
4. コミュニケーションの構築(患者、医師、看護師、事務職員)、信頼関係、チーム医療、インフォームド・コンセント

Manner) [授業方法]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 実習態度について L1. 臨床実習中は、指導医師の指示を守り、白衣を着用する。また、身だしなみ、態度、言葉づかいなどに注意する。L2. 患者の診断、病状、治療内容などの秘密は、口外してはならない。L3. 廊下歩行時、エレベーター使用時などには患者を優先する。L4. 実習開始時間は厳重に守る。やむを得ず欠席あるいは遅刻する場合には、あらかじめ担当医師に必ず連絡すること。L5. 清潔、滅菌、消毒、感染源などに注意し、患者ならびに自己の感染予防を心がける。L6. 各病院の諸規定や規則を厳守する。

Goal) [目標]

Schedule)

1. 3~5人のグループが病棟で、医師の指導のもとで実習を行う。実習内容をまとめて報告会で発表する。
2. 患者の診断、病態、治療法を理解する。 / カルテ、問診、症状(自覚症状、他覚症状)、臨床検査(正常値)、治療法(手術、放射線療法、薬物療法、等)
3. 栄養アセスメントを行う。 / 食生活、身体計測(正常値)、必要摂取エネルギー量把握、間接カロリーメトリーを用いたエネルギー測定
4. 栄養摂取量と補給法を知る。 / 選択法、食事(約束食事せん、栄養計算)、経腸栄養(適応、禁忌、種類、処方)、経静脈栄養(適応、禁忌、種類、処方)
5. 栄養教育、栄養指導法を理解する。
6. 在宅医療(特別食、献立、実技)の方法を理解する。

Textbook)

- ◇ 「栄養管理のチーム医療」(武田英二、他、編集)文光堂、2006年
- ◇ 「実践臨床栄養学メモ」(武田英二、中屋豊、高橋保子、共著)文光堂、2003年

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217977>

Contact)

⇒ Takeda (+81-88-633-7093, takeda@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 月曜日16時~17時)

⇒ Taketani (+81-88-633-9597, taketani@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ Yamamoto (+81-88-633-7235, yamamoto@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ Okumura (+81-88-633-9595, yamanaka@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) 臨床実習に必要な知識 L1. カルテを理解する:疾患の知識, 医学用語, 守秘義務 L2. 栄養素代謝と作用(栄養代謝テキスト, 文光堂, 1997)